

こんなことに困っている保護者の方へおすすめします。

**相談のたびに同じ話の繰り返し???**

子どもの成長や子育てのことが気になり、学校や病院、福祉関係者に相談しました。でも、相談のたびに同じ話の繰り返しで大変です。相談先や担当者が変わっても子どものことをすぐに分かってもらうことはできないのでしょうか？

**学校(学年)が変わると支援が継続しない???**

子どもを支援する学校の先生がかわると、せっかくの支援が途切れたり、支援方法が変わったりしないか心配。どうすればよいのでしょうか？

**緊急時、他の人へどう伝えたらいいの???**

親が病気になった時や急な用で子どもを預かってもらうことになった時、または本人が入院した時など、どうやって伝えればよいのでしょうか？

**何を伝えればよいか、まとめられない???**

支援を受けたいと思っていますが、子どもの様子をうまくまとめられるか心配です。成長の過程や、あちこちからもらった資料など相談の時には何を用意しておけばよいのでしょうか？

相談支援ファイル「かけ橋」は、教育委員会学校教育課、国東保健センター、福祉事務所、各総合支所市民健康課でお渡しできます。申請書を記入し、押印していただくため、印鑑をご準備願います。

問い合わせ 教育委員会学校教育課 ☎ 0978 - 73 - 0066

**教育の里づくり** 学校じまん・園じまん **19** ～国東市立安岐中央幼稚園～

国東市立安岐中央幼稚園  
田中清照園長 園児数61名

☎ 0978-67-0175

本園は、「笑顔いっぱい安岐中央幼稚園」をキャッチフレーズに、平成20年4月に開園し、3〜5歳児の3クラスで毎日楽しく生活しています。

「自分の思いが言え、心豊かに、のびのびと遊ぶ子どもの育成」を教育目標に掲げ、遊びや体験活動を重視した教育を行っています。園舎の周りに広がる豊かな自然に四季の移り変わりを感じながら、夏には泥田の中で遊んだり、秋には稲刈り後の田んぼで走ったりなど自然体験活動を多く取り入れています。毎日の「元気もりもりタイム」では、鉄棒やうんてい、フラフープや縄跳び、ランニングなどに取り組むことで、チャレンジ精神を育んでいます。

また、「心豊かな子ども」を願って実施するそうめん流しや餅つきは、季節を感じ、思い出に残る行事です。芋植え、芋掘り、運動会ごっこ等の行事や絵本の読み聞かせ等の活動は、園児が保護者や地域の方々と交流を深める機会になっています。

さらに、小1プロブレム対策として、小学生・保育園児との交流活動（仲良し遊び、プール遊び、七夕飾り、生活科のあそび、昼休みの園庭開放など）を推進しており、園児・児童の交流はもちろん、職員同士の交流も深まり多くの成果がみられます。

このように園生活を通して「自分の思いが言える子ども」「友だちと元気よく遊ぶ子ども」「やさしく思いやりのある子ども」を育てることを目指しています。



夏の風物詩、そうめん流し。楽しいひとときです！



しろかき前の水田で、泥んこになっておおはしゃぎ！